

◇イベント報告◇

2022 年 AICPA 年次全国大会報告

ASBJ 常勤委員 山口 奈美

1. はじめに

米国公認会計士協会（AICPA）の年次全国大会－最近の米国証券取引委員会（SEC）及び公開会社会計監督委員会（PCAOB）の動向－が、2022年12月12日から14日にかけての3日間、米国ワシントンDCにて開催され（バーチャル形式との併用）、SECやPCAOB、米国財務会計基準審議会（FASB）、国際会計基準審議会（IASB）などからの出席者により、会計基準の動向をはじめとする彼らの見解や監査及び財務報告に関する最近の論点等について発表ないし討議が行われた。当委員会からは、川西委員長及び筆者が現地にて参加した。

本稿では、本年次全国大会の主要なセッションのうち、主に会計基準に関連する部分に焦点をあてつつ、概要について紹介する（下記のアジェンダでハイライトしたセッションが対象）。なお、文中の各スピーカーの意見及び筆者の意見にわたる部分は、各人の私見であり所属する団体・組織の正式見解ではない。

2. 全体のスケジュール

2022年12月12日（月）（第1日目）

現地時間	セッション
9:00 - 9:35	AICPA アップデート
9:40 - 10:30	SEC コミッショナーとの対談、SEC 主任会計官による基調講演
10:50 - 12:05	SEC 主任会計官室（OCA）の現在のプロジェクト
12:05 - 12:35	IASB アップデート
13:40 - 14:30	気候変動及びその他の ESG 開示－作成者の観点

イベント情報

現地時間	セッション
14:50 - 15:40	PCAOB 議長による基調講演及び PCAOB ボードとの対話
15:40 - 16:40	サイバーセキュリティ防衛及び開示
16:40 - 17:30	1 日目の質疑応答

2022 年 12 月 13 日 (火) (第 2 日目)

現地時間	セッション
9:00 - 9:50	ストレス-成功サイクルを打開するために留意すべきステップ
9:55 - 11:10	SEC 企業財務局 (Division of Corporation Finance) の動向
11:30 - 11:55	PCAOB による監査基準設定に関するアップデート
12:00 - 12:25	CAQ (Center of Audit Quality) のアップデート
13:25 - 14:40	FASB 議長の講演と会計基準設定に関する状況
15:00 - 16:15	経済環境に関するアップデート
16:20 - 17:10	2 日目の質疑応答

2022 年 12 月 14 日 (水) (第 3 日目)

現地時間	セッション
9:00 - 9:55	気候変動及びその他の ESG 開示-保証の観点
10:00 - 10:50	コメント・レターに関するパネルディスカッション
11:10 - 12:00	SEC の執行部門に関するアップデート
13:00 - 13:50	CAO (Chief Accounting Officer) とコントローラーによるパネルディスカッション
13:55 - 14:45	現在の会計論点：難しい経済環境下における会計
15:05 - 15:55	ESG 開示の投資家による受け止め
16:00 - 16:50	PCAOB における登録、検査及び執行に関するアップデート

3. 議事概要

2022年12月12日（月）（第1日目）

（1）AICPA アップデート

（スピーカー：AICPA 会長 Anoop Mehta 氏）

本セッションでは、AICPA 会長の Anoop Mehta 氏より、景気後退などの経済環境に会計士がプロアクティブに対応し、将来を守るための行動をリードするために必要な 3 つの領域として「人材、スキル、信頼性」が挙げられた。また、会計士、監査法人、企業、学生が経済環境に適応し、さらに機会として生かしていくために AICPA が役割を果たしていくことも示された。さらに、ESG に対する取組みに会計士が保証業務などを通じて貢献していく用意があることも示された。

（2）SEC コミッショナーとの対談、SEC 主任会計官による基調講演

（モデレーター：Steven Jacobs 氏(EY)、スピーカー：SEC コミッショナー Hester Peirce 氏、SEC 主任会計官代理 Paul Munter 氏）

・ SEC コミッショナーとの対談

SEC コミッショナーの Hester Peirce 氏より、会計及び監査の基準設定、監査の品質、現在の環境下における財務報告などのトピックに関連する SEC の活動及び優先順位について述べられた。また、デジタル資産及び気候変動関連の開示について、SEC による規制を検討している旨が規制を検討する際に留意しているポイントとあわせて共有された。

・ SEC 主任会計官による基調講演

SEC 主任会計官代理の Paul Munter 氏は、会計は対話活動でありビジネスの言語であるとし、財務諸表をコンプライアンス目的で作成するだけでなく、ステークホルダーとの対話の手段とすることが重要であることが強調された。特に、不確実性の高い現在の環境下においては、情報の透明性を確保する必要があり、判断の基礎を含めた開示が重要であることが示された。

Munter 氏は、投資家が分解情報を求める場合に障害となるものはなくなったとの考えを示し、FASB が損益計算書、セグメント報告、法人所得税に関する分解情報の提供を検討するプロジェクトを進めることを評価した。仮想通貨については、規制よりも会計上の論点が行先していること、既存の会計基準及びガイダンスによって適切な処理を決定することになることが想定されるが、実務の不統一もみられることなどが共有された。

イベント情報

(3) SEC 主任会計官室 (OCA) の現在のプロジェクト

(スピーカー：Jonathan Wiggins 氏 (SEC)、Nigel James 氏 (SEC)、Diana Stoltzfus 氏 (SEC)、Anita Doutt 氏 (SEC))

会計・監査に関連する OCA のアジェンダについて OCA のスタッフから主に以下の点に関連するアップデートが提供された。

- OCA の役割全般
- PCAOB の監督：不正、独立性、仮想通貨市場に関与する企業の監査等
- FASB の監督：暗号資産の会計処理等
- 事前コンサルテーション・プロセス
- 執行部門のサポート
- サステナビリティ開示

暗号資産関連の論点として、OCA のスタッフに対して質問が寄せられている暗号資産の賃貸取引の会計処理について、一般的な取引を前提として SEC スタッフが現時点で想定している会計処理及び開示の方向性についても共有された。

(4) IASB アップデート

(スピーカー：IASB 議長 Andreas Barckow 氏)

IASB 議長の Andreas Barckow 氏より、IASB の作業と将来の計画についてのアップデートが提供された。Barckow 氏は、IFRS と US GAAP とのコンバージェンスの重要性に触れ、コンバージェンスされた基準を開発することと同様に、IASB と FASB が教育セッションなどを通じた連携を定期的実施することで、コンバージェンスされた状態が継続するようにすべきであるとの見解を示した。また、のれんについては、IFRS 第 3 号「企業結合」の適用後レビューとして議論していたが、現時点では減損のみモデルを変更するだけの十分な証拠は提供されなかったとして、現行モデルを維持する決定を行ったことが紹介された。この決定は FASB の決定と整合するものであり、FASB とのコンバージェンスの維持が意思決定の重要な要因の 1 つとなったことにも言及があった。

さらに、Barckow 氏は、IASB が今後 5 年間で焦点を当てる領域として、現在のプロジェクトの完了、ISSB 基準とのコネクティビティ、無形資産、キャッシュ・フロー計算書、気候関連リスクに関連する新たなプロジェクトについて説明した。また、IASB は暗号資産に関するプロジェクトを取り上げないが、この分野の進捗に着目し続けることになり、FASB のプロジェクトとも連携していくと述べた。

イベント情報

2022年12月13日(火) (第2日目)

(5) FASB 議長の講演と会計基準設定に関する状況

(スピーカー：FASB 議長 Richard R.Jones 氏、FASB テクニカル・ディレクター Hillary H. Salo 氏、FASB テクニカル・ディレクター代理 Helen Debbeler 氏)

FASB 議長の Richard R.Jones 氏より、アジェンダ協議のプロセスと結果について説明があった。Jones 氏は、コメント・レターの分析に加えて投資家を含む関係者とのアウトリーチを実施したことで、投資家のニーズと作成者や監査人のコストとのバランスを考慮したうえでアジェンダを設定することができたことを強調した。また、アジェンダの優先順位付けを考慮するうえで、プロジェクトの方向性が見えているかや基準開発のスピードにも留意していることも説明した。

その後、FASB テクニカル・ディレクターの Hillary H. Salo 氏及び FASB テクニカル・ディレクター代理の Helen Debbeler 氏より、FASB の会計基準設定に関する状況として現在の FASB のアジェンダ毎に検討状況のアップデートが提供された。

2022年12月14日(水) (第3日目)

(6) コメント・レターに関するパネルディスカッション

(モデレーター：Lisa Mitrovich 氏(Deloitte)、スピーカー：Anne Parker 氏(SEC)、Lori Locke 氏(Waner Bros. Discovery)、Raquel Fox 氏(Skadden))

本パネルでは、SEC スタッフ及び元 SEC スタッフであったパネリストにより、SEC のコメント・レター・プロセス及び最近のコメント・レターの中で注目されている共通の領域に関する分析が提供された。パネルでは、最近の SEC スタッフによるコメントの中で頻繁に指摘されている領域として、MD&A 及び non-GAAP measures についても議論された。さらに、パネルでは企業が今後特に留意すべき領域として、暗号資産、インフレーションの影響、サプライ・チェーンの崩壊、中国関連の論点などについてパネリストの洞察が提供された。

(7) 現在の会計論点：難しい経済環境下における会計

(モデレーター：Adam Brown 氏(BDO)、スピーカー：Dan Langlois 氏(KPMG)、Susan Mercier 氏(GT)、Angela Newell 氏(BDO))

本パネルでは、監査法人所属のパネリストにより、経済に影響を与える事象が尽きない環境下において、US GAAP 適用企業が 12 月決算の年次報告を作成するにあたり留意すべき主要な論点について議論が行われた。これらの論点は、大手監査法人のテクニカル部門において最近議論又はコンサルテーションされている論点とされ、非金融資産の減損、収益

イベント情報

認識（対価の回収可能性、契約の修正、現金以外の対価）、株式報酬の修正などについて議論された。

4. 終わりに

本年次全国大会では、仮想通貨取引の広がり、インフレーションをはじめとする環境の変化やその不確実性、サステナビリティ報告に関する事項など、国際的な関心が高まっている複数のテーマについて議論がなされていた。

なお、来年の本会議は 2023 年 12 月 4 日から 6 日にかけての 3 日間、米国ワシントン DC にて開催される（バーチャル形式との併用となる）予定である。

FASB 議長の講演と会計基準設定に関する状況

